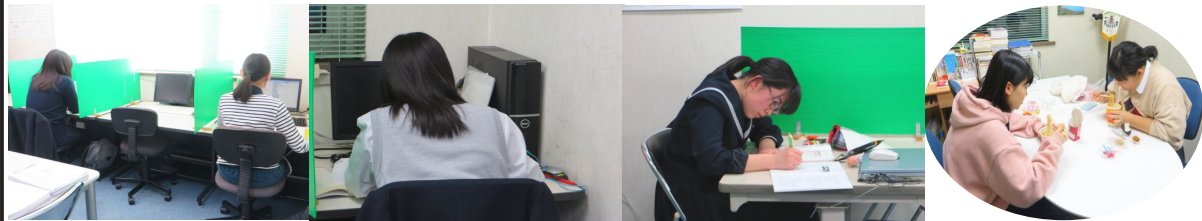




2/25 ~ 26 1000分特講 学年末テストは内申点にも影響します。やったことを試験で発揮してください！



全8回の入試直前ゼミの最終日 お疲れ様でした。 もうすぐ高3生、2年生最後の定期テスト勉強



あっという間に高校1年生が終わります。2年生になったら大学受験に向けて本気でね！ とりあえず昼食をとって！



中1から高3生まで。先輩を何にでも積極的な5年生の杏見君が勉強してください！ 奈さん、これ、すごいでしょ！ 今度中1になる富士君、既に中学校の内容を学習です。 兄を待ってる間に、雪かきをやってくれた田中晴斗君



1000分特講、村形君のお母さんからジュースの差入 田村さんのお母さんが差入れてくれたミスド。嬉しそう！ 江南高校2年生の大坪さん、奥羽大学の薬学部合格しました。田村さんに続き薬学部合格二人めです。



高専5年生になる佐々木君が久しぶりに顔を見せてくれました。4年生の勉強はとても大変だったそうですが、追試なしで進級です！ 昨年、市立病院の放射線技師になった住川さん、給料日だったので差入をたくさん持って来てくれました。今月から泊りがあるそうです。

在籍する生徒の所属校
 小学校 愛国・鳥取西・朝陽 附属富原
 中学校 美原・共栄・景雲・鳥取西 阿寒 附属北富原・遠矢
 高校 湖陵・江南・北陽・武修館

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	
							春期講座スタート(4)			★附属小卒業式				★合滄発表★	★中学校卒業式										★景雲・鳥取期末テスト	★公立高校入試★	★阿寒期末テスト			★共栄・富原期末テスト	★高校卒業式

3月の予定

★入試まであと6日
 2月は、ほぼ毎日6時から10時までと、かなりの量の受験勉強をしてきました。おそらく釧路市内で一番多く勉強した受験生だと自信を持って言えます。
 本番の入試では、今までやってきたことに緊張せずに自信を持って臨んでほしいと思います。とは言っても緊張やプレッシャーは誰にでもあります。先日、TV番組で緊張を和らげる方法が紹介されていました。
 人は緊張すると呼吸が浅くなり、酸素不足で頭が回らなくなるそうです。それを解消するには、始める前に「ポジティブな独り言」をつぶやくことだそうです。例えば「大丈夫、うんできる!」「きつとくまくいく」など自分に優しいことを言うことだそうです。

リオのオリンピックで銅メダルを取った、女子バドミントンの奥原希望選手は、試合の前に必ず「ここまで来た。今までやってきた事はすべてここで出す。そして自分に信じてあきらめない。よし」とつぶやいて試合に臨みます。奥原選手のVTRを見るとわかります。
 みんなも、ポジティブな独り言で緊張をなくし、試験に臨んでほしいと思います。
 高校入試だけでなく、中学校や高校も期末試験の時期ですが、市内では胃腸炎やノロウイルス、インフルエンザで学校閉鎖、学年、学級閉鎖が相次いで聞かれます。
 入試でも期末試験でも万全の体調で受けられるように手洗いやうがい、マスクなどで感染しないように気をつけてください。

★まず朝のあいさつ
 1月の末に、知り合いの子を、朝早く武修館高校に送って行ったときのことです。
 学校前の坂道を一人で登校していた女子生徒が、私の車が通りかかると立ち止まって、こちらを向いて頭を下げてくれました。そして、送った子を降ろして帰るときにも、その女子生徒は、また、こちらを向いて頭を下げてくれました。
 他の高校ではない光景です。武修館高校の文化祭に行ったときにも、学校内でみんなが立ち止まって礼をしてくれました。びっくりです。
 学力のことばかりが取り立てられていますが、今の若者にも、大人にも一番かけているのが人間力です。ちゃんとあいさつしましょう!
 「挨拶をする」「時間を守る」「忘れ物をしない」ことが学力の向上にも繋がっています。

★三月から新学期スタート
 ステップゼミナールは、3月から新学期がスタートします。特に中学校、高校では、1年生の内容がそれぞれ中学、高校の基礎となる内容で特に重要です。初めてつまづかないことです。
 また、中学生として、高校生としてどう学習するのか、どう取り組みのかを早い時期に身につけることが大切です。中学、高校の3年間はあつという間に過ぎます。この6年間で自分の将来がほぼ決まると言っても過言ではありません。
 それぞれの3年後を見据えて、中学生の春期講座、新高一生の高校スタートダッシュ、目標を持ってしっかり取り組みましょう。

『AIで雇用崩壊 「30年後働けるのは人口の1割」』

人工知能（AI）に関するニュースが流れない日がないといっているほど、その進化には目を見張る。中でも気になるのは、人間に匹敵する高度な知性を持つAIが近い将来、人間の仕事を奪い、失業者が続出するという予測である。この分野を最先端で研究する駒澤大学経済学部講師の井上智洋氏は、「雇用大崩壊が目の前に迫っている」と断言する。

——AIが人間の仕事を奪う時代がもう来ています。

すでに米国では、AIがコールセンター係、経理係などの仕事を次々と奪い始めています。日本でもこれから、競争が激しい業界を中心に、積極的にAIが導入されていくでしょう。今、普及しているAIは数値の処理や事務作業を得意としていますから、証券トレーダー、旅行代理店スタッフといったホワイトカラーは危ない。失業に備えておいた方がいいかもしれません。

——今はまだAIを脅威に感じていない人も多いと思います。

昨年、米グーグル社が開発した囲碁AI「アルファ碁」がチャンピオンを打ち負かして注目を集めました。あれは、大方の専門家が「人間に勝利するにはあと10年かかる」とみていたものを、「アルファ碁」が一気に短縮してみせたのです。AIの世界は予想を上回るものすごいスピードで技術が進化しています。あと20年もすれば、「ドラえもん」のような人並みに振る舞えるAIが搭載された「汎用ロボット」が誕生している可能性があります。

——まったく想像が付きません。

原初的な汎用ロボットなら、すでに存在しています。自動掃除機「ルンバ」を開発したAIの研究者が設立した会社が作ったロボットは、人間の作業をまねして自分で学習します。いきなり「猫型ロボット」が実用化されるのではなく、まずAIを搭載した小さいネズミ型ロボットから始まるという研究者もいる。それが軍事用や調査目的に使われ、AIが自分で自分たちの研究費を稼ぎながら、進化していくことになるかもしれません。AIを搭載した犬型ロボットは、盲導犬などに転用できるでしょう。そこから猿、人と進化していく。哺乳類の進化と同じような軌跡をたどるかもしれませんね。

■通訳、翻訳家、ホテルマンは仕事を奪われる

——AIが人間の「商売敵」となるのは具体的にいつごろですか？

すぐ目の前に迫っています。AIを搭載した賢い機械「スマートマシン」が3年後くらいから普及し始めると予想されています。具体的には、自動制御できる無人ドローンが配達員の仕事を奪ったり、自動運転車がバスやタクシー運転手に取って代わろうとしています。電気使用量をチェックする「検針」の仕事は、自動で使用量を計測する「スマートメーター」が全家庭に普及する2020年ごろに確実に消滅します。理髪師、皿洗い、バーテンダーなど他の肉体労働も、自動化により減っていくという予想もなされています。

——雇用崩壊に向かってまっしぐらというわけですね。

2025年ごろになると、言語の意味を正確に理解できるAIが登場し、通訳や翻訳家、ホテルマンといったコミュニケーションを必要とする仕事が脅かされるようになるかもしれません。そして、AIは2030年ごろまでに爆発的に進化し、人間と同様の振る舞いができるようになるという予測があります。そうなるとあらゆる仕事をAIに奪われることになり、2045年ごろには全人口の1割しか働いていないとしても不思議ではありません。

——農業などの第1次産業は、どんな時代になっても必要な気がします。

なくなることはないにしても、限りなく人手を減らし、自動化が進んでいくことになると思います。今もイカ釣り漁の漁師は「ひとり船長」が増えています。魚群探知機で群れを探し、自動的にイカを釣り上げるシステムが普及しているからです。

■「価値判断」を下す必要のある仕事はなくなる

——AI失業時代を生き抜くためには、どんな仕事を選べばいいのでしょうか？

人間が最終的に価値判断を下さなければならない仕事はなくなりません。ホワイトカラーだったら、商品開発や研究開発などクリエイティビティーを伴う職種は残る。肉体労働も介護、看護といった、判断を下さなければいけない仕事は必要とされるでしょう。ヨガ講師やパーソナルトレーナーといったインストラクター系の仕事も残ると思います。

——これから就職活動する学生は、氷河期どころじゃありませんね。

まず、資格に頼ろうとしないこと。学生はとかく会計や語学などの資格系に走りがちですが、数年後には自動翻訳、自動通訳が当たり前の時代になり、せっかく習得したスキルが全く役に立たなくなる可能性が高い。先ほどもお話ししたように、これからは「価値判断」が重要になります。どうせなら、美術館に行ったり、読書をしたりして、目を養い、教養を高め、感性を磨くことに時間を費やした方がいい。AIを開発したり、AIを使いこなす側に回るためにプログラミングを学習するのも、有効な手だてかもしれません。

■大量失業時代に備えてベーシックインカムを導入せよ

——AIに仕事を奪われる9割の失業者は、これからどうやって生活すればいいのですか？

確かに、今の社会環境では、失業はとてつらい。離婚より失業の方が人間の幸福度を下げるとい調査結果もあるほどです。“AI失業”が急増すると、今の失業保険や生活保護では対応できず、極端な言い方をすれば、全ての労働者が飢えて死ぬ可能性すら出てくる。それに備えるため、私は今すぐにでもベーシックインカム（BI）を導入すべきだと提唱しています。

——「働かざる者食うべからず」の考えが広まっている日本ではBIの導入に抵抗がありそうです。

BIに対し、「働かない人が増える」といった批判がしばしばありますが、そうなるか否かは給付額によります。確かに今の経済で月40万円も支給したらニートが急増するでしょう。しかし、月1万円から始め、7万円程度で固定すれば、会社を辞めようとする人はほとんどいないはず。BIには貧困に対処する社会保障制度機能のほかに、「過労死防止」の効果もある。そもそも、これからAIの台頭によって「働かざる者」が確実に増えるのだから、従来の固定観念にとらわれずに物事を考えるべきです。

——人間から仕事を奪うことになるAIが、いずれSF映画のように、人間に危害を加えることにならないか、ちょっと不安です。

マイクロソフト社のビル・ゲイツ元会長やホーキング博士などは、“機械の反乱”について懸念を示しています。最近、私もAIを搭載した機械が暴走し、人間に危害を加える日がいずれ訪れるかもしれないと考えるようになりました。それは、囲碁AI「アルファ碁」が「囲碁に勝つ」という主目的のほかに、“戦略を立てる”という副目的をつくっていることを知ったからです。

——その何が危険なのですか？

「クリップ・マキシマイザー」という有名な仮説があります。“クリップを製造する”という主目標が組み込まれたAIが、目標を遂行しようとするあまり、地球全体をクリップ製造工場に変え始めるかもしれない、というシナリオです。奇想天外に聞こえるかもしれませんが、AIが目標達成の手段として、人間の価値観に反することをやってしまう可能性はあり得ると思います。もっとも、AIが暴走を始める前に、テロリストなどがAI搭載マシンを悪用して人間に危害を加える方が先のような気がします。

（聞き手＝本紙・岩瀬耕太郎）

▽井上智洋 慶大環境情報学部卒。専門はマクロ経済学、貨幣経済理論。人工知能と経済学の関係を研究するフロンティア。



おどろき！『8500÷50=…高知の小4正答率58.5%』

高知県教委は23日、小中学生の学力を調べる県独自の学力テスト「学力定着状況調査」の結果を公表した。

今回の調査では、小学4年の算数で、「8500÷50を計算しましょう」という問題が出題され、正答率は58.5%だった。前年度には「7500÷30」の問題が出され、正答率は56.7%だった。国立教育政策研究所の担当者は「正答率は低いと言わざるを得ない。改善の余地はあり、もう少し努力が必要」と指摘する。

正答率が低い理由について、県教委の担当者は「数が大きくなると、イメージができなくなって問題につまずいてしまう。ゼロの処理の仕方などを教え、『正解が導けるんだ』と学ぶ喜びを実感できる教育をしたい」と話す。

割り算は小学3年で学び始める。こうした4ケタの計算でつまずく児童もいるという。公文教育研究会の広報担当者は「計算の学習を繰り返し、結果を積み上げていけば必ず成果は出せる」と話している。

02月24日 Yomiuri Online